

令和二年度 疫病ウイルス新型コロナウイルス COVID-19 感染症消滅退散祝詞

なまよみの甲斐の祝御殿に鎮まります、掛け巻くも畏き天之御中主大神、高御産巢日大神(たかみむすひのおおかみ)、神御産巢日大神(かみむすひのおおかみ)、宇摩志阿斯訶備比古遲神(うましあしかびひこちのかみ)、天之常立神(あめのとこたちのかみ)、天照皇大神(あまてらすすめのおおかみ)、豊受大神、すべての国のはじめの宮の神々、言霊(げんれい)の百神(たりたるのかみ)、言々都牟須比命(こことむすひのみこと)、言乃麻知比売命(ことのまちひめのみこと)、天兒屋根命、神牟須靈神(かみむすびのかみ)、高牟須靈神、玉留産靈神、生産靈神、足産靈神、大宮売神、御食津神、事代主神、一言主神、歴代(みよみよ)の天皇(すめらみこと)の御靈等(みたまたち)、此れの里の氏神と招(お)ぎ奉る三嶋大神、国常立神、国底立神、大己貴神、少名彦神(すくなひこなのかみ)、八衢比古神(やちまたひこのかみ)、八衢比売神(やちまたひめのかみ)、久那斗神(くなとのかみ)、意富加牟豆美神(おほかむづみのかみ)、素戔鳴命、天之吹男神(あめのふきおのかみ)、天之吹女神(あめのふきめのかみ)、和豆良比能宇斯能神(わづらいのうしのかみ)、八十禍津日神、大禍津日神、神直日神(かむなおひのかみ)、大直日神(おおなおひのかみ)、伊豆能売神、瀬織津比売神、速秋津比売神、気吹戸主神、速佐須良比売神、天御柱神、国御柱神、大地主大神、産土大神、天機置師神、各の各の家々の遠津御祖神の大前に恐み恐みも白さく

令和二年の先つ頃より外国(とつくに)より移り渡り来たる疫癘(えやみときのけ)の発生(な)り出でて、此度の疫(えやみときのけ)の流行(はやりもの)は疫(えやみ)の中の殊(こと)に激しく悪しかりけるが、此頃日本(ひのもと)の国内(くにのうち)の彼方此方(おちこち)に流行(おこなわ)れて、其の疫病(えきびょう)の禍事(まがごと)に罹りて、人草(ひとくさ)の悩み苦しむ者(もの)多(さわ)なる事は、風の音(ね)のとほほどに聞きたに憂い惑いの事の極みなも有りけるに、其の根(ね)は未だ滅(き)えずて有りしが、日に異(け)に蔓延(うまわ)りつつ、天の下の公民(おおみたから)を悩め苦しむるを以(も)て、此れを防ぎ鎮むる為に、あはれ大神々の広き深き御恵み、広き厚き御恩頼(みたまのふゆ)を忝み奉り謝び奉りて、白川の学びの輩の中今に祈り奉り、大前にロゴストロンを献奉(たてまつ)りて御祭(みまつり)仕(つか)え奉(まつ)らくを平らけく安らけく諾(うづな)ひ聞食(きこしめ)し給ひて、大神々の高き貴き大陵威を蒙り奉りて、疎(うと)び荒ぶる疫病(えやみ)の物氣(もののけ)を神祓(ひ)に祓(ひ)退(そ)け給ひて、病み臥(ふ)せる人々をば速やかに癒し給ひ直し給ひて、種々の疫病(えやみ)の邪氣(もののけ)の兆さぬ前に中今のうちに祓(ひ)給ひ清め給ひ、夜の守り日の守りに守り恵み幸ひ給ひ、今も行く先も、禍神の禍事有らしめ給わず、新型コロナウイルス

COVID-19をはじめとする種々の疫病(えやみ)ウイルスの悪気(あしきけ)を神防ぎに防ぎ給ひ、神逐らひに逐らひ(やらひにやらひ)給ひ、夜の守り日の守りに守り恵み幸ひ給ひ、人の命を救ひ給ふ薬の効(しる)しに、医(くすし)の力は白すも更なり、大神々の著(し)るき大陵威(おおみいつ)を与え給ひて、熱(あつ)かひ悩める者をも速やけく癒し給ひ直し給ひ助け給ふと共に、荒び行く疫病(えやみ)ウイルスを速やかに悉く打ち鎮むる事を得しめ給ひて、疫病(えやみ)ウイルスの八十禍津日の禍事有らしめ給はず、顕世(うつしよ)のあらゆる災を祓ひ給ひ清め給ひ、天の益人等の過ち犯しけむ種々の枉事罪穢れの有らむをば神直日大直日に見直し聞き直し給ひ、中今に祓ひ給ひ清め給ひ、各の各の公の誠の務めを成し得しめ果たさしめ給ひ、広き世界平和(よのなごみ)と人類の意識進化に貢献(みつぎささげ)仕へ奉らしめ給ひ、十種神宝御法を以て天津日嗣のゆくりなく大和学びの業弥進めに進めしめ給ひ、天津日嗣をはじめとして天の下の公民に至るまで普く公を守り恵み幸はえ給ひ、平らけく安らけく清らけく明らけく共に立ち栄へしめ給へと恐み恐みも白す

れいわにねんどえきびょうういるすしんがたころなういるすこおびつとないんていいんかんせんしょうしょうめつたいさんのりと

なまよみのかいのはふりのみあらかにしずまりますかけまくもかしこきあめのみなかぬしのおおかみたかみむすひのおおかみかみむすひのおおかみうましあしかびひこちのかみあめのとこたちのかみあまてらすすめおおかみとようけのおおかみすべてのくにはじめのみやのかみがみげんれいのたりたるのかみことむすひのみことこのまちひめのみことあめのこやねのみことかみむすびのかみたかみむすびのかみたまつめむすびのかみいくむすびのかみたるむすびのかみおおみやのめのかみみけつかみことしろぬしのかみひとことぬしのかみみよみよのすめらみことのみたまちこれのさとのうじがみとおぎまつるみしまのおおかみくにとこたちのかみくにそこたちのかみおおなむちのかみすくなひこなのかみやちまたひこのかみやちまたひめのかみくなどのかみおほかむづみのかみすさのおのみことあめのふきおのかみあめのふきめのかみわづらいのうしのかみやそまがつひのかみおおまがつひのかみかむなほのかみおおなほのかみいずのめのかみせおりつひめのかみはやあきつひめのかみいぶきどぬしのかみはやさすらひめのかみあめのみはしらのかみくにのみはしらのかみおおとこぬしのおおかみうぶすなのおおかみあめのはたおかしのかみおののおののいえいえのとおつみおやのかみのおおまえにかしこみかしこみももうさく

れいわのふたとせのさきつころよりとつくによりうつりわたりきたるえやみときのけ
のなりいでてこたびのえやみときのけのはやりものはえやみのなかのことはげしく
あしかりけるがこのごろひのものとくにのうちのおちこちにおこなわれてそのえきび
ょうのまがごとにかかりてひとくさのなやみくるしむものさわなることはかぜのねの
とほどにきくたにうれいまどいのことのきわみなもありけるにそのねはいまだきえず
てありしがひにけにうまわりつつあめのしたのおおみたからをなやめくるしむるをも
てこれをふせぎしずむるためにあはれおおかみがみのひろきふかきみめぐみひろきあ
つきみたまのふゆをかたじけなまつりゐやびまつりてしらかわのまなびのともがら
のなかいまにいのりまつりおおまえにろごすとろんをたてまつりてみまつりつかえま
つらくをたいらけくやすらけくうづなひきこしめしたまひておおかみがみのたかきと
うときおおみいつをかがふりまつりてうとびあらぶるえやみのもののけをかみはらひ
にはらひそけたまひてやみふせるひとびとをばすみやかにいやしたまひなおしたまひ
てくさぐさのえやみのもののけのきざさぬさきになかいまのうちにはらひたまひきよ
めたまひよのまもりひのまもりにまもりめぐみさきわひたまひいまもゆくさきもまが
かみのまがごとあらしめたまわずしんがたころなういるすこおびつとないんていいん
をはじめとするくさぐさのえやみういるすのあしきけをかみふせぎにふせぎたまひか
みやらひにやらひたまひよのまもりひのまもりにまもりめぐみさきわひたまひひと
いのちをすくいたまふくすりのしるしにくすしのちからはもうすもさらなりおおかみ
がみのしるきおおみいつをあたえたまひてあつかひなやめるものをもすみやけくいや
したまひなおしたまひたすけたまふとともにあらびゆくえやみういるすをすみやかに
ことごとくうちしずむることをえしめたまひてえきびょうういるすのやそまがつひの
まがごとあらしめたまわずうつしよのあらゆるわざわいをはらひたまひきよめたまひ
あめのますひとらのあやまちおかしけむくさぐさのまがごとつみけがれのあらむをば
かむなおひおおなおひにみなおしききなおしたまひなかいまにはらひたまひきよめた
まひおののおののおおやけのまことのつとめをなしえしめはたさしめたまひひろきよ
のなごみとひとくさのいしきしんかにみつぎささげつかえまつらしめたまひとくさの
かむだからごほうをもてあまつひつぎのゆくりなくやまとまなびのわざいやすすめに
すすめしめたまひあまつひつぎをはじめとしてあめのしたのおおみたからにいたるま
であまねくおおやけをまもりめぐみさきはえたまひたいらけくやすらけくきよらけく
あきらけくともにたちさかえしめたまえとかしこみかしこみももうす